

「浜岡原子力発電所 1, 2 号機 廃止措置状況」の記載誤りについて

1. 誤っていた箇所と廃止措置状況の訂正

平成 28 年度第 1 四半期分の 1, 2 号機 廃止措置状況の報告準備をしていたところ、「放射線管理区域外の解体撤去物の発生・処分状況」において、2 号機の解体撤去物はすべて発電所外に搬出済みであるにもかかわらず、処分待ち量が記録上残っていることがわかりました。

過去の報告内容を調査した結果、2 号機の解体撤去物の発生量のうち金属類に誤りがあり、これにより処分待ち量にも誤りが生じたものであることがわかりました。誤りは平成 27 年度第 2 四半期～平成 27 年度第 4 四半期の 3 期分で発生しており、それ以外には誤りはありませんでした。(右表参照)

2. 原因調査結果

管理区域外の解体作業に伴い発生した解体撤去物の量を四半期ごとに集計する際、本来であれば当該期間中に発生した量(発生量)の計量記録を用いて集計すべき量を、誤って当該期間中に搬出した量(処分量)の計量記録を用いて集計する等していました。

原因調査結果

- ①解体撤去物の発生量を集計する際、エビデンスとして個々の計量記録を集計結果に添付し、数値のダブルチェックを実施していました。しかしながら、解体撤去物の計量結果を示す記録に「撤去品重量測定記録」、「撤去品返納重量記録」、「撤去品保管記録」など解体から搬出に至るまで複数の種類の計量記録が存在し集計に使用する計量記録の取り違えが起りやすい状況にあり、その対策として集計に使用する記録を明確にするなどの対応をおこなっていませんでした。また、集計結果の審査時にエビデンスとして添付している計量記録が適切なものであることの確認が十分に行われていなかったことや、関係部署間の確認が十分に行われていなかったことがわかりました。
- ②発生量を集計する部署と、処分量を集計する部署が異なっており、発生量、処分量、処分待ち量の全体を管理する体制が不十分であったため、実際には処分待ちの解体撤去物がない状態にもかかわらず、誤りの発見が遅れました。

3. 再発防止対策

- ①解体撤去物の発生量の集計に使用する記録を社内手引に具体的に明記し明確化することで、集計記録の取り違えを防止します。また、今回の事象について関係者に周知し、集計の作成・審査時に適切な記録を用いていることの確認や、関係部署間の確認の徹底を図ります。
- ②解体撤去物の発生量と処分量のデータ管理、現場での保管管理を一元管理することで、現場とデータとの不整合が発生することを防止します。また、現場での保管状況と集計結果を照合できるようにします。

表 調査結果および訂正箇所

○平成 27 年度第 2 四半期

	2号機						2号機				
	発生量 ^{※1}		処分量 ^{※2}		処分待ち量 ^{※3}		発生量 ^{※1}		処分量 ^{※2}		処分待ち量 ^{※3}
	今期	累計	今期	累計			今期	累計	今期	累計	
金属類	368.6	801.8	368.6	510.2	291.6	208.2	641.4	368.6	510.2	131.2	
合計	394.7	881.0	394.7	589.4	291.6	234.3	720.6	394.7	589.4	131.2	

○平成 27 年度第 3 四半期

	2号機						2号機				
	発生量 ^{※1}		処分量 ^{※2}		処分待ち量 ^{※3}		発生量 ^{※1}		処分量 ^{※2}		処分待ち量 ^{※3}
	今期	累計	今期	累計			今期	累計 ^{※3}	今期	累計 ^{※3}	
金属類	0.0	801.8	202.0	712.2	89.6	70.8	712.2	202.0	712.2	0.0	
合計	14.0	895.0	216.0	805.4	89.6	84.8	805.4	216.0	805.4	0.0	

○平成 27 年度第 4 四半期

	2号機						2号機				
	発生量 ^{※1}		処分量 ^{※2}		処分待ち量 ^{※3}		発生量 ^{※1}		処分量 ^{※2}		処分待ち量 ^{※3}
	今期	累計	今期	累計			今期	累計 ^{※3}	今期	累計 ^{※3}	
金属類	0.0	801.8	0.0	712.2	89.6	0.0	712.2	0.0	712.2	0.0	
合計	0.0	895.0	0.0	805.4	89.6	0.0	805.4	0.0	805.4	0.0	

- ※1 管理区域外の解体撤去物のうち、分別および計量により物量を把握できた量
- ※2 発電所敷地外に産業廃棄物・有価物等として搬出した量、もしくは発電所敷地内で再利用とした量
- ※3 発生量累計と処分量累計の差分であり、発電所敷地外への搬出を待っている量。

□ 誤っていた発生量 ■ 訂正が必要な箇所

・平成 27 年第 2 四半期、第 3 四半期の「放射線管理区域外の解体撤去物の発生・処分状況」のうち、2 号機の金属類の発生量の値が誤っていました。
 ・これに伴い、第 2、第 3、第 4 四半期分の累計、合計、処分待ち量にも誤りが生じていました。